

# 「いま、ともに生きるとは？」

私たちは毎日、ともに生きています。  
家族と一緒に。職場でともに。外に出ればたくさんの方のなかで。  
このような生活を当然なこととして過ごしていますが、  
どこかで不安を感じる時がありませんか？  
自分のまわりに誰もいない！と。  
その時、わたくしたちは何をするでしょうか？  
この質問から出発して「ともに生きること」を  
みんなで考えてみましょう。

2017年1月22日(日) 13:30~15:00  
(開場 13:00)

講師 林 義子氏

カトリック援助修道会会員、東京いのちの電話創設期から  
事務局・ボランティアの研修担当等を経て、現在は理事。



会場 仙台市シルバーセンター  
第1研修室(7階)

定員 170名 入場無料 申込受付中！

【お申込み・お問い合わせ】 仙台いのちの電話事務局  
TEL 022-718-4401 FAX 022-718-4431

仙台いのちの電話

ホームページからお申込みできます！

◆この講演会は仙台いのちの電話「すみれの会」を知っていただくための仙台市補助事業です◆

社会福祉法人 仙台いのちの電話  
自死遺族支援わかちあいのつどい「すみれの会」



「すみれの会」は、自死により大切な人を亡くされた方が  
安心してお気持ちを語り、想いをわかちあう場所です。

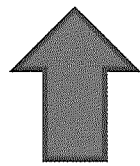
【日時】 毎月第1土曜日 第3水曜日 13時~15時

【会場】 仙台市市民活動サポートセンター ※地下鉄広瀬通駅西5番出口すぐ

第1土曜日：自死で大切な人を亡くされた方対象（家族・友人など）

第3水曜日：自死でご家族を亡くされた方対象（家族限定）

【問い合わせ】 仙台いのちの電話事務局 022-718-4401



F A X 送信方向

仙台いのちの電話 FAX 022-718-4431

林 義子氏 公開講演会 参加申込書

ふりがな お名前	ご連絡先
	TEL :
	TEL :

■平日 10 時～18 時まで電話でも受け付けます。

TEL 022-718-4401

■仙台いのちの電話 HP から申し込むことができます。

～仙台いのちの電話広報紙より～

「すみれの会」それはどんなところなの？

メンバーは、大切な人を自死で亡くされた人たち。お互いに身元を明かす必要はない。話したくないことは話さなくてもいい。悲しみ比べをしない。人を批判しない。話を遮らない。そして大原則、ここで話されたことは決して外に持ち出さないこと。

どんなに悲しみ嘆き、たとえ同じことを何十回と繰り返して語っても、泣いても構わない。「もう何年たったから」「そんなに悲しんだら成仏できないよ」「いい加減に忘れなさい」「まだほかに子どもがいるでしょう」「若いのだからやり直しができるよ」「時が解決するよ」「亡くなった人が悲しむよ」とかそんな言葉はここでは語られない。

「後を追って死にたい」と叫んでも「私もそう思うときがあるよ」「その気持ちわかる」という言葉が実感をもって語られる。この場所には自分の気持ちを非難せずに、共感といたわりをもってありのままに受け入れてくれる人たちがいる。

受け入れられる体験を重ねてゆく中で、その人自身の生きる力が、心の傷を抱えなおし、大切に守るべき位置にそっと置いてくれる。遺族は一度遺族になったら「遺族という人生」を生きてゆく。その人生はそうでなかった人生よりも決して劣るものではない。その人らしくかけがえのない人生を歩みだすために、この時間と場所が必要であると体験する。自死遺族のわかちあいの会とはそういう場所。